

氏名	村上秀樹	所属	電気電子工学科	職位	教授
----	------	----	---------	----	----

職務	項目例	割合【%】		活動内容
		計画	実績	
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	40	担当科目授業: 基本的には、前年までのやり方を踏襲する。学生の理解度、および自主性を高めるために、演習問題を拡充させる。 卒業研究: 基本的には、昨年行ったテーマを継続する。
		実績		
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	25	共同研究: 卒業研究で進めている研究のうち2つが共同研究である。実験系のテーマについて、コロナの影響があり、アウトプットができていないので、外部発表等に繋がられるよう、注力する。
		実績		
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	15	就職担当のため、就職を中心に最終学年の学生に対する進路指導を行う。 クラブ活動: 担当クラブの引率監督の割り振りを責任持って果たす。
		実績		
校務 / 管理運営	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	10	就職担当のため、就職を中心に最終学年の学生に対する進路指導を行う。 テクノセンター運営員のため、ハカセ塾の運営、講義を行う。
		実績		
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	10	学会発表: 専攻科学生を中心に、学会発表を積極的に行っていく。 学外団体活動: 応用物理学会半導体基金委員会委員, 電子デバイス界面テクノロジー研究会コミッティ、九州工業大学ニューロモロフィック研究センター外部研究員、広島大学ナノデバイスバイオ融合科学研究所客員教授, 国際会議ISCDSプログラムコミッティ, (高専機構) 共同教育プログラム メンバー, compass5.0半導体分野担当 の各役割を遂行する。
		実績		

教員業務内容報告書

報告者氏名	村上秀樹	所属	電気	職位	教授	報告年度	令和 5年度
-------	------	----	----	----	----	------	--------

分野	計画		実績		記載事項例
	エフォート	内容	エフォート	内容(計画からの変更点)	
教育	50	授業、卒業研究、専攻科研究	50	授業(後期:実験1、座学2, 専攻科1)、卒業研究(4名)、専攻科研究(1年生1名)	担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導 学生数 教育方法改善内容
研究	15	学会発表、論文執筆	15		論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金
学生生活指導	5	野球部	5	試合等の引率	クラブ顧問 コンテスト指導
校務・管理運営	20	相談室長補、構成補導委員、相談室運営委員、研究推進委員	20	各委員会に出席	主事 その他の長 学科長 委員長 部長 主事補等 担任 委員会委員 部会員
社会活動	10	応用物理学会、電子情報通信学会、国際会議IWDTFウェブ担当、電子デバイス界面テクノロジー研究会コミッティー、九州工業大学ニューロモロフィック研究センター外部研究員、広島大学ナノデバイスバイオ融合科学研究所客員准教授 国際会議ISCDSプログラムコミッティー 共同教育プログラム メンバー(NTT Docomo担当)	10	応用物理学会、電子情報通信学会、国際会議IWDTF ウェブ担当、電子デバイス界面テクノロジー研究会コミッティー、九州工業大学ニューロモロフィック研究センター外部研究員、広島大学ナノデバイスバイオ融合科学研究所客員准教授 国際会議ISCDSプログラムコミッティー 共同教育プログラム メンバー(NTT Docomo担当)	所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動

(注) エフォートは各職務にかかる(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。